

古河市災害時避難行動要支援者個別支援計画作成業務

に関するアンケート調査の結果について(概要)

【Ⅰ. 調査設計と結果】

1. 調査対象 古河市民のケアプラン等を作成する居宅介護支援事業所、障がい者相談支援事業所（全78事業所）の内、古河市と個別支援計画の作成業務の委託契約を結んだ65事業所全部を対象とする（調査票は1事業所につき1部で、管理者等が代表して記入するものとした）。
2. 基準日 令和元年8月31日
3. 調査期間 令和元年8月23日 研修会開催時に配布（一部郵送）
令和元年9月6日 提出締め切り（窓口を持参）
4. 調査方法 質問紙法（アンケート形式）
留め置き法
無記名方式
5. 回収サンプル数 41件（回収率63%）
6. その他 回答する際、数値等で回答する設問は、貴事業所内の作成者の全員の状況の合計、又はその平均値で回答してもらおう。また、選択肢から回答を選択や、自由記述等の意見は、作成者全員の意見を取りまとめた上で、管理者等が代表して回答するよう条件付けした。

【Ⅱ. 調査結果の概要】

1. 個別支援計画の作成状況について
 - ・令和元年5月中に契約後、令和元年8月31日までに、41事業所中23事業所が個別支援計画の作成に携わり、合計170件の個別支援計画が作成された。
 - ・事業所内のケアマネジャー・相談支援専門員等の有資格者99名の内、43名が個別支援計画に携わった。
 - ・対象者宅に訪問する前に、個別支援計画の作成の準備にかかった時間は平均で47分であった。
 - ・事業所から対象者宅までの往復の移動（1回の訪問の往復）にかかった時間は平均で33分であった。
 - ・個別支援計画の作成のために対象者宅に訪問した回数は、平均で2.7回であった。
 - ・対象者宅において、個別支援計画についての説明、同意の取り付け、情報の聞き取り、記載

内容の相談、その他にかかった時間は、平均で53分であった。

- ・対象者宅での聞き取りや確認後、事務所に戻ってからの作業（個別支援計画の仕上げ等）にかかった時間は、平均で48分であった。
- ・個別支援計画作成の際に大変であったこと（苦労したこと）は、「個別支援計画を作成する時間を確保すること」が16件と最も多く、次いで、「本人又は家族等に事業の趣旨や「重要事項説明書」について説明し、理解を得ること」が7件であった。

2. 個別支援計画の作成にかかる負担等について

- ・個別支援計画の作成1件あたりにかかる事務費等（事務用品代、コピー代、燃料代等）の経費の額は、平均で373円であった。
- ・個別支援計画を作成した者が、通常の勤務時間を超えて勤務（時間外勤務）した事業所は5事業所で、件数は合計で13件であった。時間については30分未満が1件、30～60分未満が1件、90～120分未満が1件であった。
- ・個別支援計画作成業務の委託料1件の単価（3,500円という金額）については、「非常に高い金額だと思う」が1件、「おおむね妥当な金額だと思う」が16件、「やや安い金額だと思う」が10件、「非常に安い金額だと思う」が6件であった。
- ・1か月間に、1人の担当者が作成できる個別支援計画の件数については、「1件」が9件、「2件」が12件、「3件」が8件、「5件以上」が3件であった。
- ・個別支援計画を実際に作成した担当者は、その業務を行うことについて、「それほど負担に感じていない」が2件、「どちらともいえない」が2件、「やや負担と感じている」が13件、「非常に負担と感じている」が13件であった。

2. ケアマネジャー等の個別支援計画の作成に関する意識について

- ・個別支援計画の作成の業務を次年度以降も受託する意向については、「受託する予定」が22件、「検討中」が11件、「受託しない予定」が1件であった。
- ・ケアマネジャーや相談支援専門員が、サービスを提供している対象者（高齢者や障がい者又はその家族等）に対して、災害・防災に関する情報を提供することについては、「非常に大切なことであると思う」が31件、「まあまあ大切なことであると思う」が5件であった。
- ・ケアマネジャーや相談支援専門員が、サービスを提供している対象者（高齢者や障がい者又はその家族等）のために個別支援計画の作成を行うことについては、「非常に意義があると思う」が17件、「多少意義があると思う」が11件、「どちらともいえない」が2件、「多少疑問に思う」が4件、「非常に疑問に思う」が1件であった。
- ・個別支援計画の作成を行う前と後で、作成に携わった担当者の対象者に対する災害・防災への意識の変化については、「意識が非常に高まった」が9件、「意識が多少は高まった」が15件、「とくに意識の変化はなかった」が4件であった。

以上